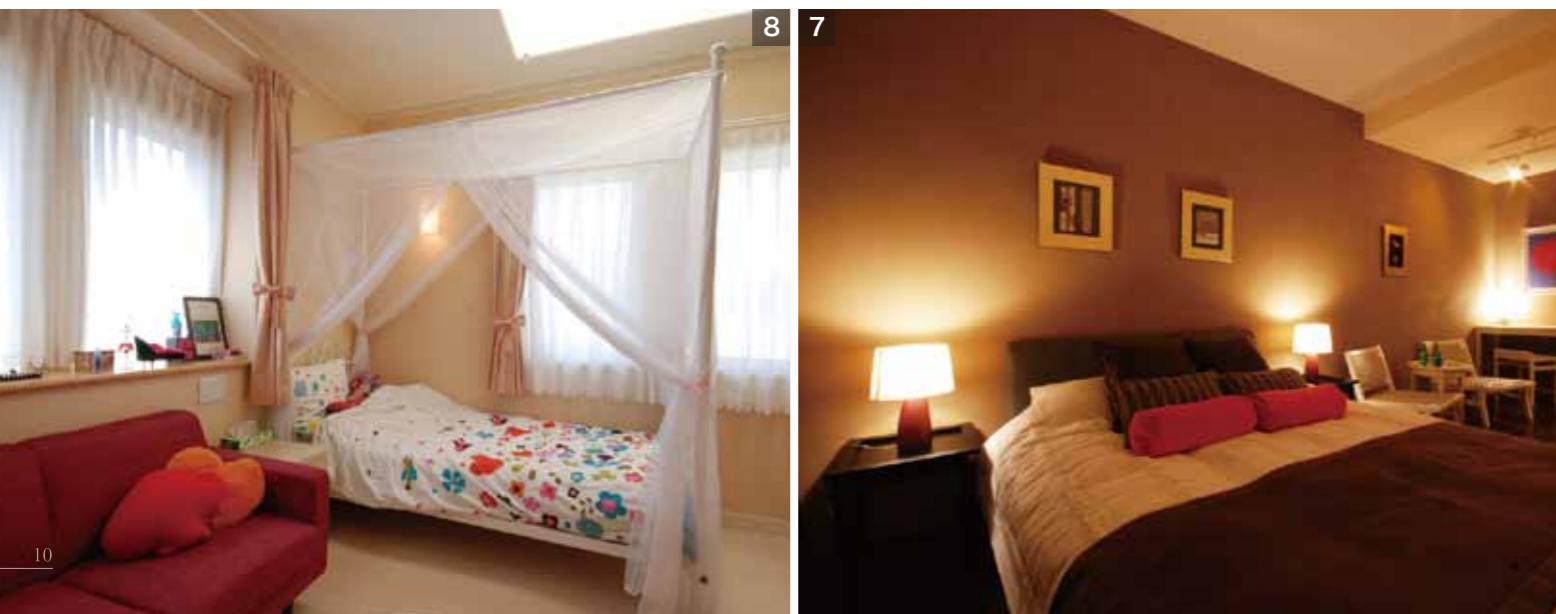


【写真1】ゆったりとしたデザイン・サイズのソファーは、深い寛ぎの効果があります。ブラウンの色でその効果が一層強まります。【写真2】ソファやクッションに鮮やかな色や柄を用いると、その場の「氣」が活性化します。【写真3】赤いソファに座ると色彩の効果で元気になります。観葉植物のグリーンとのコントラストで、より質の高い空間となっています。【写真4】薄めの優しい色でまとめられた室内。ビタミンカラーのクッションがアクセントとなって「明るさ」「楽しさ」を感じられます。【写真5,6】ダイニングの家具は、料理がおいしく見えるようにアースカラーの家具を選ぶと良いです。黒や真っ青な家具は避けた方が良いでしょう。【写真7】全体的に落ち着いたトーンの色彩でまとめられた寝室。赤いクッションと壁面の花の絵がポイントとなっています。【写真8】赤いソファとカラフルなベッドカバーで、ワクワクする雰囲気がいっぱいの子供部屋。天蓋を付けることで氣が安定しますし、落ち着いて睡眠をとることが可能です。

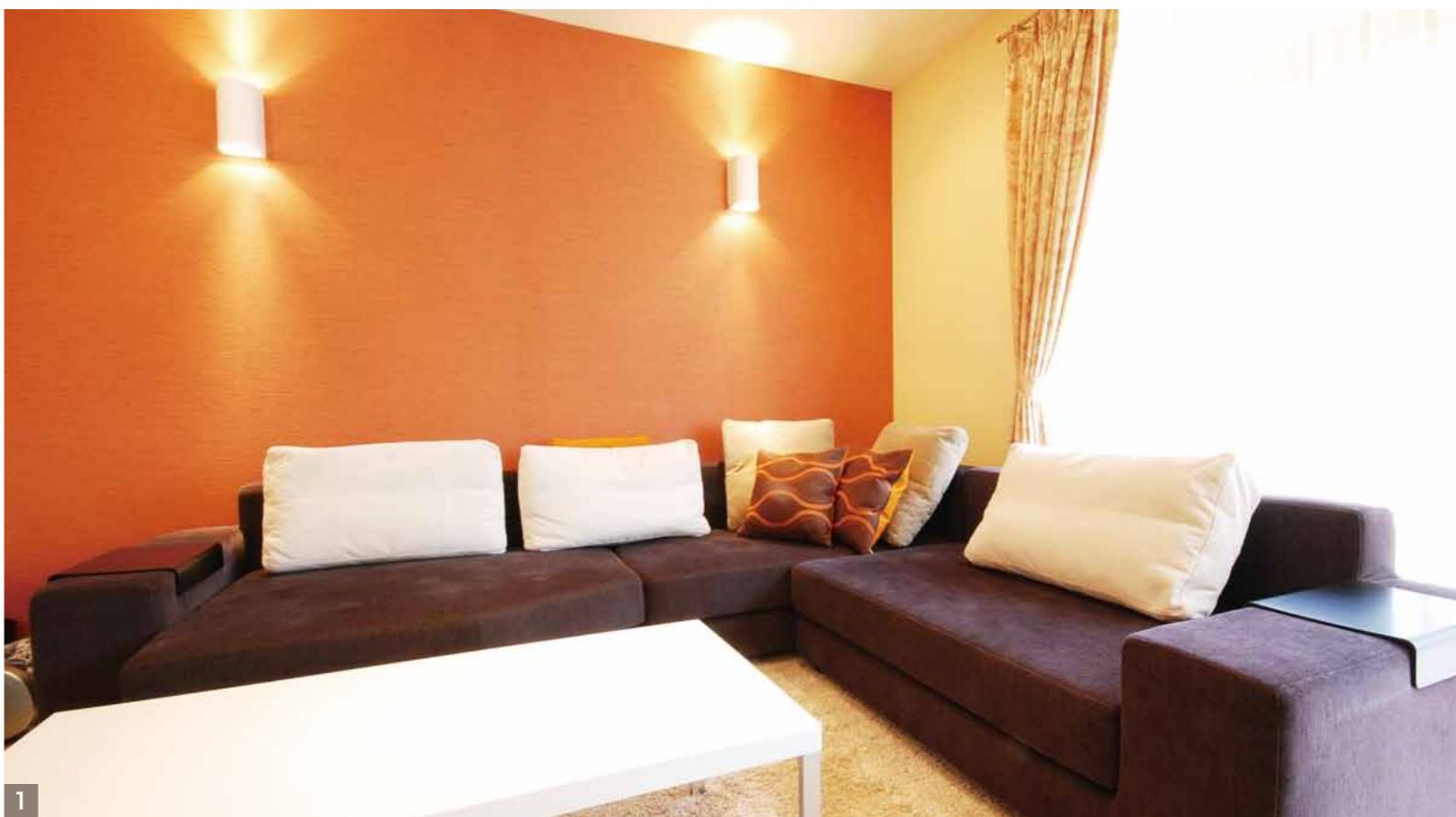


Feng-Shui Gallery

special edition vol.9

～風水デザインが空間にもたらす影響を、住空間のスペースごとに考える～

『家具・小物①』



色やデザインの良い家具のある空間は、良い氣を呼び込みやすくなります。

最後に、絵や観葉植物などの小物の効果について。これらを選ぶ基準もやはり良いデザインというのがベースになりますが、特に色を意識すると良いでしょう。カラフルな雑貨・小物に囲まれる生活は、色彩刺激により豊かな感情を育み、観葉植物は大きめな葉ぶりのものを選ぶと「氣」の流れを整えるという効果があります。

寝室のベッドは、ベッドヘッドが付いているものをおすすめします。頭周辺の氣が安定して、深い睡眠をもたらしてくれるでしょう。

例えば、リビングにはゆったりとしたデザイン・サイズのソファを置けば寛ぎの効果が高まります。色で言えば、赤やオレンジ色は元気ややる気を高められますし、アイボリー・ベージュを選べば、安らぎや落ち着きのある空間にすることが可能です。

住む人に合った機能をもつ家具を選ぶのはもちろんですが、色や形などのデザイン面から受ける影響もあるからです。住空間をデザインするのと同じように、良い家具を選ぶことも、快適な生活を送るために重要なポイントとなります。